

令和5年度 栄区 幼保小教育交流事業活動報告

「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」
～架け橋期のカリキュラムの充実に向けて～



令和5年度テーマ 「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」 ～架け橋期のカリキュラムの充実に向けて～

【テーマ設定の理由】

栄区では、園児・児童の十分な理解と情報の共有化が円滑な接続を支えており、子ども達の健やかな成長を育む基盤となっている。また、幼稚園・保育園での主体性を大切にした活動が小学校の教育活動に生かされ、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことにつながることを強く意識し、「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」というテーマで、子どもの姿を通してブロックごとの実践を中心に活動を進めている。

また、小学校学習指導要領や幼稚園教育要領、保育所保育指針において、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の重要性が明確に位置付けられ、遊びや学習を通して資質・能力を育成していくことが求められている。さらに国の動向として、年長児4月から1年生3月までの2年間を「架け橋期」とし、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期として、この時期のカリキュラムを充実させていくプログラムが進められている。

こうしたことを踏まえ、園児と児童の交流はもとより、保育者・教職員の交流や連携の大切さと必要性を再認識するとともに、子ども達が自己を発揮しながら主体的に学びに向かうことができるよう、～架け橋期のカリキュラムの充実に向けて～ をサブテーマとして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに子ども一人ひとりの姿を大切に捉えながら、幼児期の学びと小学校教育の学びがにつながる架け橋期のカリキュラムの充実を図る取組を進めていきたい。

●交流事業対象 (A～Gブロック別に交流)

- ・こども園 3
- ・幼稚園 6
- ・保育所 16
- ・小学校 14
- ・特別支援学校 1 計 40園・校



●実行委員会 (年間5回開催)

- ・年度計画立案
- ・研修会等の計画・運営
- ・ブロック別交流の進め方検討
- ・事業のまとめ、次年度計画

●園長・校長会 (年間2回開催)

- ・6月・2月に開催
- ・栄区としての活動を協議
- ・各交流ブロックごとに取組を立案、振り返り
- ・情報交換

令和5年度 栄区事業報告

●第1回 実行委員会 4月21日(木)

- ▶ ・自己紹介 ・令和5年度の事業内容についての確認 他

●第2回 実行委員会 6月3日(金)

- ▶ ・園長校長会の運営について ・幼稚園参観、講演会について 他

●第3回 実行委員会 10月5日(木)

- ▶ ・幼稚園参観について ・講演会打ち合わせ ・役割分担 他

●第4回 実行委員会 12月7日(木)

- ▶ ・講演会打ち合わせ ・第2回 園長・校長会の運営について

●第5回 実行委員会 3月8日(水)

- ・令和5年度・6年度実行委員参加 ・令和5年度の反省とまとめ ・令和6年度にむけて
令和5年度テーマ設定 他

★幼稚園・保育園・小学校参観 9月～1月

- ・各ブロックで幼稚園・保育園・小学校参観 ※別のブロックからも参観できるようにした

●園長・校長交流会

▶ ●第1回 園長・校長交流会

6月30日（金）15:30～

▶ 栄区役所 101・102号

▶ ・栄地区テーマについて

▶ ・栄地区事業計画について

▶ ・交流ブロックについて

▶ ・推進地区の取組について

▶ ・接続期カリキュラム推進地区の取組について

▶ ・情報交換 他

▶ ●第2回 園長・校長交流会

▶ 2月16日（金）15:30～

▶ 栄区役所 101・102号

▶ ・令和5年度事業報告

▶ ・補助金決算報告

▶ ・健やか子育て講演会報告

▶ ・推進地区の報告

▶ ・各ブロック情報交換・発表

▶ ・推進地区からの報告

▶ ・情報交換 他

●幼稚園・保育園・小学校参観

○各ブロックで幼稚園・保育園・小学校を参観
※別のブロックからも参観できるようにした

【令和5年度 公開した学校・園】

- ・Aブロック 千秀小学校
- ・Bブロック 小菅ヶ谷小学校
- ・Cブロック 公田保育園
- ・Dブロック 上郷小学校
- ・Eブロック 鍛冶ヶ谷カトリック幼稚園
- ・Fブロック 西本郷小学校
- ・Gブロック 本郷台小学校

子ども達の実際の姿を保育士や教員がまず見て知ることが、架け橋期の理解につながると考えました。これまで区で1つの施設が保育や授業参観を行っていましたが、今年度は各ブロックごとに公開することにチャレンジしました。ブロックを超えて見に行けるよう、柔軟な体制で行うことができました。手応えあり！

●健やか子育て講演会

2月1日(木)15:00～ 栄公会堂 講堂

参加者 180名(保護者・教員・保育士・行政関係)

講演テーマ

「幼児期から学童期の子育て保育・教育で大切なこと
～子どもたちのわくわく・いきいきをつなぐ～」

講師 大豆生田 啓友 氏


(玉川大学教育学部 乳幼児発達学科教授)

4年ぶりに保護者も講演会にお越しいただきました。大豆生田先生のお話から、子どもは生まれながらにして「有能な学び手」であること、園での遊び時間は、小学校の授業時間と同じで、主体的で探求的、協同的な活動であること、幸せな子どもを育てる4つの因子など「架け橋期」で大事にしたいことが保護者の方々にもわかりやすく伝わったように思います。子どもに関わる大人が同じまなざしで育てていくことの大切さを共に学ぶことができました。

2023 幼保小交流報告 Aブロック

・飯島小学校 ・千秀小学校 ・豊田小学校

・飯島幼稚園 ・飯島保育園 ・いいじまルーテル保育園




相手を意識して活動することができました。


はじめての交流会の様子



しゃぼん玉遊び



小学校の校庭でしゃぼん玉遊びをしました。いろいろな道具を使って、しゃぼん玉をつくったり、つかまえたりして楽しみました。



遊び方やルール説明が園児にも伝わるように工夫しました。

あきまつり

小学生が生活科の学習で考えた、秋の遊びを一緒に楽しみました。園児にお客さん役になってもらいました。



交流報告 Bブロック

小菅ヶ谷小学校、小山台小学校、小菅ヶ谷幼稚園、
やまゆり幼稚園、エミールの森ひよこ保育園



小学校の授業公開の日に
1年生の授業を見学しま
した。



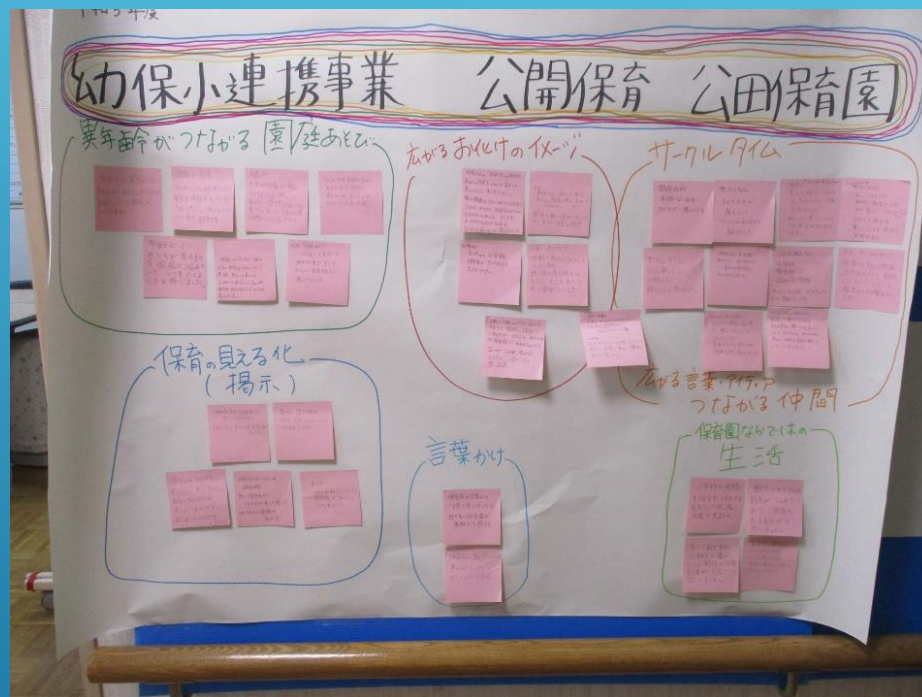
ブロックで同じ絵本を購
入して、各校各園で児童
園児で同じ絵本の世界を
楽しみました。



園児と児童の交流日で
遊んだり学校の様子を
知らせたりした

交流報告 Cブロック

- ・ 公田小学校
- ・ 桂台小学校
- ・ かつら愛児園
- ・ 桂台保育園
- ・ 公田保育園



10月11日に公田保育園で公開保育を行いブロックで参観しました。教室や園庭での様々な活動を参観し、気づきや感想、質問や疑問点を記入しました。たくさんの付箋を整理し、まとめました。また、プランターに花の種や球根を植えて楽しみに育てていきます。

交流報告 Dブロック

- ・ 上郷小学校
- ・ 庄戸小学校
- ・ 認定こども園 いのやま
- ・ 上郷いちい保育園
- ・ ふあみりーサポートのあ



1年生が秋探して集めたどんぐりなどを材料でおもちゃを作り、園児を招待して一緒に遊びました。



「続・顔の見える関係づくりを目指して」をテーマに1年間一緒に活動する「なかよしグループ」で名前を伝えてあいさつをしました。



グループに分かれて小学校を探検しました。リーダーの1年生が丁寧に学校の中を紹介していました。



交流報告 Eブロック

本郷小学校 ・ 桜井小学校
認定こども園 中野幼稚園
中野どんぐり保育園 ・ 誠心幼稚園
鍛冶ヶ谷カトリック幼稚園



年長児が案内役で1年生とグループで園内を探検しました。



6年生が年長児と園でドッジボールやごっこ遊びなど、年長児がやりたい遊びをして一緒に過ごしました。

小学校を1年生が案内役になって校内を探検し、ランドセルを背負う体験もしました。



交流報告 Fブロック

- ・ 笠間小学校・西本郷小学校
- ・ いいしまひがしこども園・大船ルーテル保育園・かさまの杜保育園
- ・ 杜ちゃいんど保育園・アスク大船保育園



自分たちで作ったオリジナルのおもちゃやけん玉、おりがみなど遊びを中心に交流をおこないました。みんなでダンスをしたり、にしほんじゃんけんを一緒に行ったりしました。招待状やお礼の手紙の交流もありました。

本郷台小・本郷特別支援学校 新大船幼稚園
やまゆり保育園・ベネッセ本郷台保育園・すずかけ保育園
ニチキッズさくら本郷台保育園

交流活動

互いを知ろう (今年は小学校の授業参観)



1年生の生活科の授業を園の先生方が参観。幼児期とのつながりや子どもの育ちを協議会でも一緒に話すことができました。肯定的な子ども観や主体的に活動したり学んだりすることができるよう奈保育や授業づくり、そのつながりを子どもの姿を通して学び合えました。



1年生と年長さんの交流を4年ぶりに行いました。年長さんと楽しんで交流できるように自分たちで計画した1年生。当日は優しく声をかけてリードしていました。「楽しかった～。また来たい！」という気持ちをもった年長さん。子ども同士のかかわりは、安心感と親しみにつながったようです。年長さんの安心感と1年生の成長の自覚につながった交流でした。

なかよしチューリップ交流 今年も一緒に育てています



令和5年度 成果と課題

成果

- コロナが5類となり、どのブロックも対面での子ども達の交流が復活。同じ地域で育つ子ども達が互いに関わることで、楽しさや嬉しさ、安心感、小学校へのあこがれ、自己肯定感など、様々な育ちを見ることができた。
- テーマにある子ども達の育ちと架け橋期のカリキュラムの充実を図るためには、これまで以上に子どもの姿を見て知ることを大切にしようと、ブロック毎に保育や授業を見合うことにチャレンジ！遠くてなかなか参観に行けなかったこれまでの課題をこのような形で行うことにより、見て知る、そして保育や授業に生かすことに繋がった。日程が合わないときは他のブロックでもOKとすることでより取り組みやすかった。
- 健やか子育て講演会を、保護者も含めて4年ぶりに開催することができた。子どもに関わる大人が同じまなざしで育てていくことの大切さを共に学ぶことができた。

課題

- 年に2回の園長校長会はとても有意義なものだったが、実際の交流などを進めるうえで、担当職員同士が集まる日程を組み込んでいく必要があると現場の先生方から声が上がっている。職員同士の研修や子ども同士の交流がさらに積極的に行えるように、担当者会を年間予定に組み入れ、推進につなげたい。
- 補助金について、ブロックごとに活動費として活用した。それぞれのブロックで、活動が有意義に行われるよう、様々な物品を購入し、取り組んでいたが、互いの購入物品と目的を共有したり、区としてまとまった研修をしたりするなど、さらに有効に活用できるように考えていきたい。
- 区校長会や区幼稚園長会、保育園長会などを通して、架け橋期の理解推進を図っていくことを、今後一層進めていく必要がある。各施設の職員への理解を推進するうえでも必要である。

